

第26回

しっくいこてえ

全国漆喰鏝絵 コンクール作品展

伊豆の長八美術館 特別展



第26回最優秀賞作品 「鳳凰」 西根良幸

令和8年10月2日(金)～10月31日(土)

※木曜休館

開館時間 9:00～17:00

会場 伊豆の長八美術館 特別展示室

入場料 大人500円・中学生以下無料

常設・特別展共通

同時開催

佳作展

会場
民芸館2F

第26回全国漆喰鰻絵 コンクール作品展

漆喰鰻絵とは、日本古来の建築素材である漆喰を鰻でレリーフ状に盛り上げて描いたもので、その漆喰鰻絵を芸術の域にまで高めたのが、松崎出身で幕末から明治にかけ活躍し、左官の名工とうたわれた「伊豆の長八（入江長八）」です。

松崎町では、長八翁の偉業を讃えるとともに、漆喰鰻絵の魅力を全国に発信するため、2000年から「全国漆喰鰻絵コンクール」を開催しています。

本年の第26回全国漆喰鰻絵コンクールには、伝統的な題材から、新しい感覚でとらえた自由な発想の作品など、全国各地から多くの皆様にご応募いただき、その中から入賞作品15点を展示させていただきます。

漆喰鰻絵について

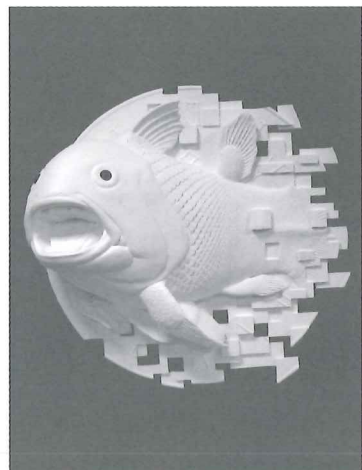
鰻絵とは、左官職人が鰻を使い、日本古来の建築素材である漆喰をレリーフ状に盛り上げたもので、漆喰細工ともよばれています。鰻絵は左官職人が施主に対する感謝の気持ちを表すために、仕事のお礼として家の戸袋や壁、土蔵の持ち送りやふぶり等に絵柄を塗り出したものです。

その材料となる漆喰は消石灰に角又やすさを練り合わせたもので、この漆喰を鰻で巧みに描き、その上に絵具で彩色したものを「漆喰鰻絵」と呼び、新たな芸術分野として完成させたのが、松崎出身で幕末から明治にかけ活躍し左官の名工とうたわれた入江長八です。

長八の考案した「漆喰鰻絵」は、左官本来の建築装飾から額縁、塑像、掛け軸にまで及び、その技は全国へ広まり今もなお建築装飾としてその姿をとどめています。



第26回 優秀賞作品
「暖簾」
野田 正三



第26回 優秀賞作品
「時越希望」
堀田 愛

交通のご案内

◆電車で

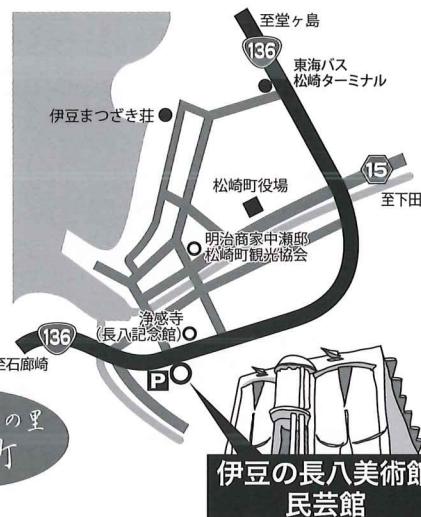
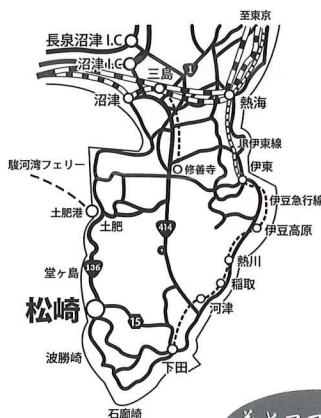
東京	新幹線 50分	熱海	伊豆急 1時間20分	蓮台寺	バス 40分	松崎
東京	直通電車 2時間45分			下田	バス 50分	松崎
東京	直通電車 2時間10分			修善寺	バス 1時間45分	松崎
東京	新幹線 1時間			三島	バス 2時間30分	松崎

◆船で

清水港	駿河湾フェリー 90分	土肥港	バス 40分	松崎
-----	----------------	-----	-----------	----

◆車で

東名沼津 IC、新東名長泉沼津 IC より 伊豆縦貫自動車道路経由
国道 136 号→松崎 77 km (下田より 27 km)



伊豆の長八美術館

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎 23

TEL.0558-42-2540 FAX.0558-42-2573

主催：松崎町・（一財）松崎町振興公社

後援：（一社）日本左官業組合連合会